NADPZ
JULY NEWSLETTER

ザンビアの他地域への自然農法拡大

ザンビア自然農法開発計画（NADPZ）は自然農法をザンビアの他の地域に拡大し続けています。 今年の 3 月、私たちは東部州を訪問し、シンダ地区で 56 人の新しいデモ農家を訓練しました。 7 月、私たちのプロジェクト マネージャーとトレーニング チームは、ザンビア中部州のムンブワ地区女性組合を訪問し、9 つの異なるクラブから参加した 109 人の新しいデモ農家をトレーニングしました。自然農法トレーニング チームは、ムンブワの女性たちから非常に暖かく熱烈な歓迎を受け、女性たちはトレーニング セッションに積極的に参加したとのことでした。

私たちは将来プロジェクトを一緒にやって行けること楽しみにしています.

今月の農民紹介
ライザ・チュマ

ライザ・チュマを紹介します。2005 年に私たちが最初にこのプロジェクトを開始したとき、アラン・イマイ先生が撮った何千枚もの写真から彼女を覚えているかもしれません。ライザは・チュマはムババラ女性農民組合の創立メンバーの一人であり、小規模農業の進歩と発展において農民組合が果たす重要な役割を伝導し教育する役割を果たしました。

ライザは自然農法の活発な支持者であるだけでなく、今日の自然農法組合活動に至るまで積極的な影響を与え強力な原動力となってきました。彼女は２００３年から２０１０年まで統合組合長に選出されました。統合組合長の立場を辞した後も、ルカマンタノ組合のデモファーマーとして、また組合長として引き続き積極的な役割を果たし、周辺地域の農民クラブの農家たちに自然農法を紹介し指導を続けてきました。

今日、ライザは自然農法トレーニングチーム（NATT）メンバーの一人として、自然農法に関心を持つ農民たちの指導のために他の州を訪問しています。ライザに合うと次の用語が理解できます。「爆薬は小いさな袋に入っている！」彼女の小柄な体の中には多くのエネルギーとパワーが宿っており、持ち前の会話能力が彼女をインフルエンサーにしています。

ライザは５人の子供と１３人の孫を持つシングルマザーです。私が彼女を知る限りにおいて、農業は彼女の優先事項であり、彼女の子供たちの生活を変え、家族の食卓に食料を提供する方法です。他の女性農民たちにも同じ機会を与えることが重要であると感じています。

舞台裏の原動力を見て、ライザ・チュマのような農民たちを祝福してください。

家庭菜園の影響と重要性

アフリカでの調査によると、家庭菜園を持つことで家庭での野菜の消費量が増加し、より健康的な食事を確保できることが示されています。これは、農家が野菜の栽培方法を管理できるためです。 調査によるとまた、家庭菜園プロジェクトによって、農家がスーパーマーケットや地元の市場から野菜を購入するのに費やすお金が減るため、農家はより自給自足できるようになることを示しています。

自然農法野菜生産プロジェクトは、何人かの農家が自給自足になるのを助けただけでなく、彼らは年間を通じてより健康的な食品を提供しながら、副収入を得るのにも役立ちました。またこのプロジェクトは、農家に肥料や殺虫剤の使用を止めて、野菜を自然に育てる方法を教えています。それによって生産コストを抑えられるだけでなく、化学物質の食品への混入を防いで健康な食品の収穫が得られ、環境保護にもつながります。

昨年、ザンビア自然農法開発計画（NADPZ）は秀明インターナショナルの支援を受けて ペンバプロジェクトサイトに井戸を設置しました。その近くに住んでいるチブエ女性クラブは、井戸の近くに 自然農法菜園を始めることを決定しました。乾季にも水の利用が容易になるからです。

彼らの菜園の成功に注目し、彼らの 自然農法野菜がどれほど美しいかをお見せしたかったのです。 また、彼女らは家庭で野菜を消費しているだけでなく、余った野菜を近所の人や友人に売っていることも強調したいと思いました。これにより、石鹸、食用油、その他の家庭での必需品購入のための収入の一部を得られました。

プロジェクトコーディネーターは、デモファーマーの責任者をこの女性クラブ の菜園に案内し、女性たちに自立への次のステップとして野菜の種子を採取する方法を教えました。これにより彼女たちは新たな種子を購入する必要がなくなります。

また、NADPZ が最初にロゴを作ったとき、小規模農業における女性の役割を強調したかったことにも注目したいと思います。中央の写真はこれを非常によく示しています。

私たちはチブエクラブの成功を祈り、これからも彼らをサポートしていきます。

.